

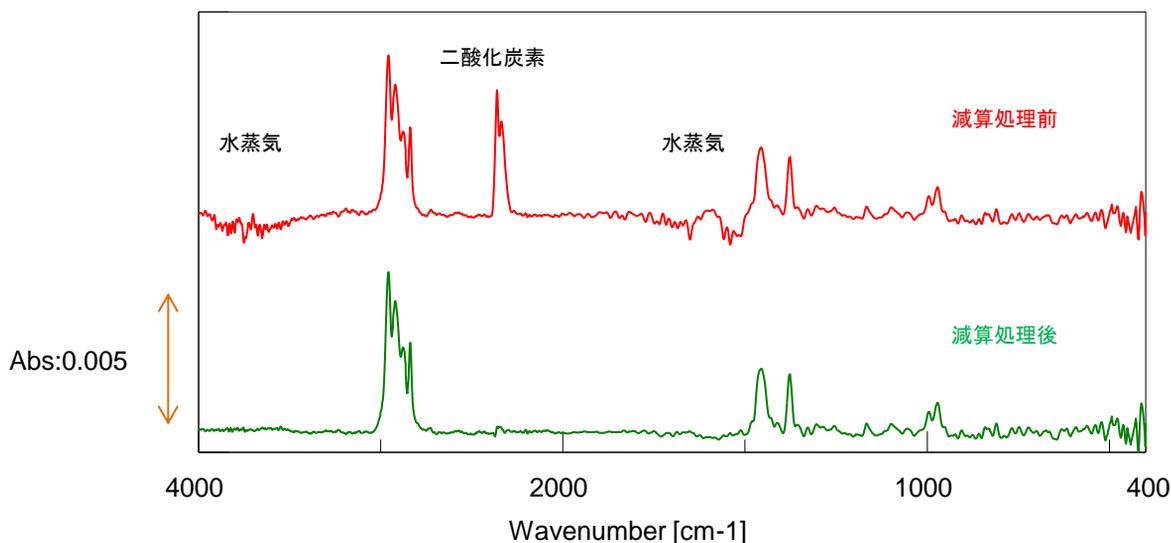
## マスクを用いた繊維1本の透過測定

一般的には赤外顕微鏡を用いる微小な試料について通常のFTIRの透過測定を行いました。  
ClearDiskにプレスすることで細い繊維状試料も非常に観察しやすくなり、IR透過用自在ホルダーを用いるとマスクサイズや位置を容易に決めることができます。さらに標準で搭載されている水蒸気・二酸化炭素減算機能を活用することで吸光度0.005の極めて微弱な吸収ピークでも十分に定性分析が可能となります。



IR透過用自在ホルダー

PP製繊維の測定結果



### Condition

透過法(φ5, BKG: KBrプレート), マスクサイズ 1x3mm, 分解 8cm<sup>-1</sup>, FT/IR-6000 シリーズ

### Master's Memo

- バックグラウンド測定とサンプル測定とのマスクの位置と大きさを合わせると良質なスペクトルが得られます
- IR透過用自在ホルダーにはタテ、ヨコそれぞれ1、3、5mmのスリットがあり、試料の大きさに合わせてマスクを作成することができます